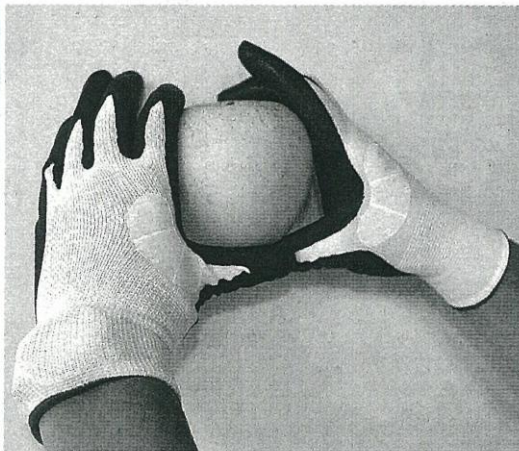


きおう、トキなど黄色品種

適期収穫スムーズ

県りんご協会



黄色品種のカラーチャートが付き、適期収穫に便利な手袋「ハンドチャート」

県りんご協会(福士春男会長)は8月1日から、県の黄色品種リンゴ用の標準カラーチャート付き手袋「ハンドチャート」を新発売する。手袋に付けた収穫適期の色の見本と照らし合わせることで、作業時に色の判定をスムーズにできる。時間のロスがなく、味の乗り切っていないリンゴが収穫されるリスクも減らせる。きおう、トキ、星の金貨、シナノゴールドの4品種に対応しており、同協会は「栽培に慣れていない新規参入者らに活用してもらいたい」とPRしている。

(渋谷絃一)

チャート付き手袋、来月発売 「新規参入者ら活用を」

黄色品種は近年、省市が製造した特許取力化の流れに乗って生産商品柿、ミカンの産量が増えているが、チャート付き手袋を見てもあって市場価格が低迷した。このことから、同協会では黄色品種全般の品質底上げを目標し、生産者の啓発に力を入れている。開発のきっかけは、昨年10月に東京都内で開かれた農業資材関係の見本市で、同協会の奈良正史技師が、三重化学工業(三重県松阪)が開発した「りんご黄色品種標準カラーチャート」から、生産量が伸びている4品種に対応する3色を使った。

手袋は四つのサイズ

を用意し、今年度は計2万4000組を生産した。黄色品種の低迷に対し、問題意識を共有する県内の産地市場や農協の協力も得て、大々を期待する。新規参入者にも活用し、入者にも活用し「しい」と話した。奈良技師は「秋に税込み370円はい合わせは同協会0172の6000へ。」